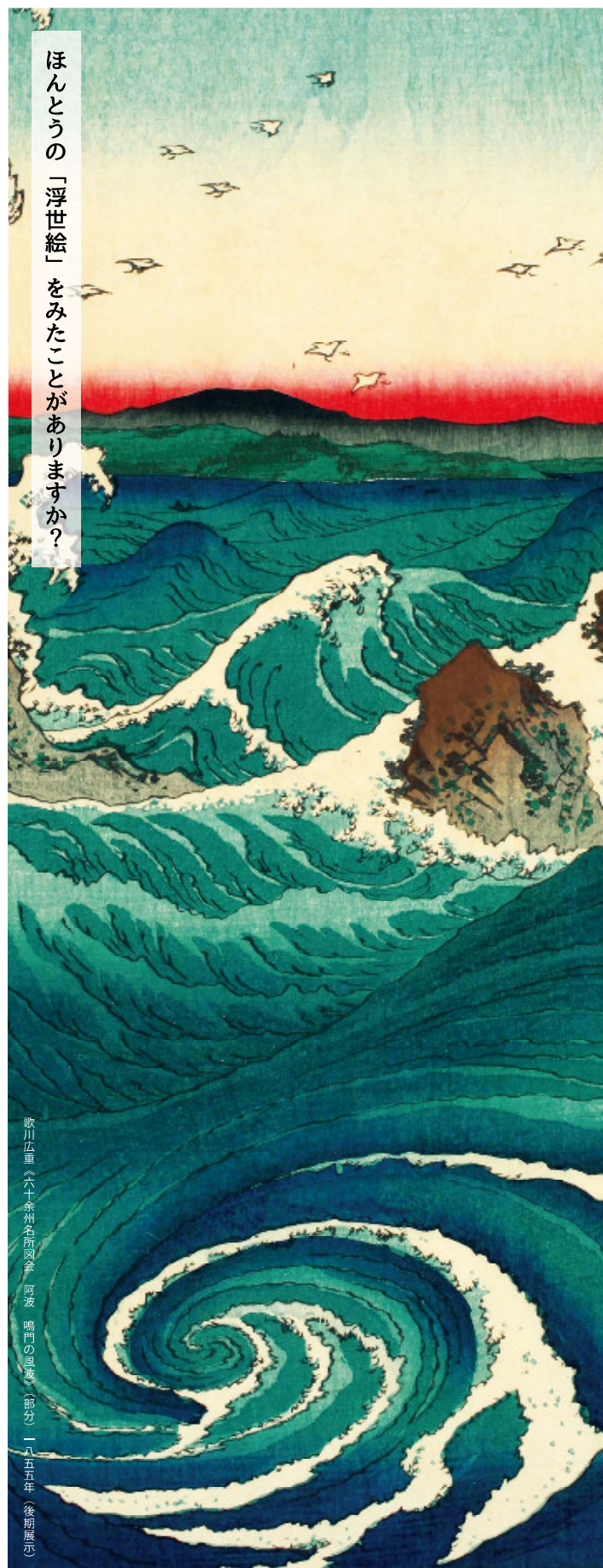


新潟市政令指定都市移行 10 周年記念
BSN新潟放送創立 65 周年記念



ほんとうの「浮世絵」をみたことがありますか？

歌川広重《八十余州名所図会 阿波 鳴門の風流》（部分）一八五五年（後期展示）

原安三郎コレクション

広重ビビッド

広重・北斎・国芳、至高の初摺



摺りたてのような保存状態、夢のコレクション、大公開。

HIROSHIGE
VIVID

観覧料：一般前売 800 円／一般当日 1,000 円（団体 800 円）

大学生・高校生 800 円（団体 600 円）／中学生以下無料

- 団体は 20 名以上 ●リピーター割引（半券提示で 2 回目は団体料金に割引）
- 障がい者手帳・療育手帳をお持ちの方および一部の介助者は無料（受付でご提示ください）

〔前売券販売所〕前売期間：1 月 20 日〔金〕～3 月 17 日〔金〕

新潟市美術館、新潟市新津美術館、新潟県立近代美術館、新潟県立万代島美術館、hickory03travelers、シネ・ウインド、DeKKY401、新潟伊勢丹、文信堂 CoCoLo 万代、セブン・イレブン（セブンチケット）、インフォメーションセンターえん

※NIC 新潟日報販売店でもお取り寄せできます。

主催：新潟市美術館、BSN新潟放送 共催：新潟日報社

残したい、心の遺産。

特別協賛： 福宝 協賛：SECOM セコム上信越

後援：公益財団法人 アダチ伝統木版画技術保存財団 企画制作：TBSテレビ

新潟市美術館
Niigata City Art Museum

2017年 前期 3.18[±]～4.16^日
展示作品 後期 4.18^火～5.21^日
ほぼ総入替

開館時間：午前 9 時 30 分～午後 6 時 ●観覧券の販売は開館 30 分前まで
休 館 日：月曜日・3 月 21 日〔火〕●3 月 20 日〔月・祝〕・5 月 1 日〔月〕は開館

これこそ、江戸の色。 越後の風景も。



歌川広重《六十余州名所図会 越後 親しらず》
1853年（通期展示）



歌川広重《六十余州名所図会 佐渡 金やま》
1853年（通期展示）

※〈六十余州名所図会〉のうち、越後の風景を描いた2点は、全期間展示します



歌川広重《名所江戸百景 江戸橋屋鋪》
1857年（前期展示）



歌川広重《名所江戸百景 王子装束象の木 大晦日の狐火》1857年（後期展示）



葛飾北斎《諸国瀧廻り 木曾路／奥阿弥陀ヶ瀧》
1833年頃（後期展示）



歌川広重《東海道五拾三次之内 蒲原 夜之雪》1833年頃（前期展示）



葛飾北斎《富嶽三十六景 凱風快晴》1829～32年（後期展示）



葛飾北斎《千絵の海 総州銚子》1832年頃（前期展示）



歌川国芳《忠臣蔵十一段目夜討之図》1832年頃（後期展示）

〈名所江戸百景〉120枚揃と〈六十余州名所図会〉70枚揃は、巨匠・歌川広重晩年の傑作として知られています。本展では、これらの連作全点の「初摺」をごらんいただきます。「後摺」では線がぼやけ、摺色も減られますが、「初摺」は広重の創意を存分に伝えます。その上、このたび展示される作品にはほとんど退色もなく、まるで摺りたてのように濃密でビビッドな色彩に、どなたも驚かれるに違いありません。

これらの作品は、日本化薬株式会社会長をつとめた原安三郎氏（1884-1982）が蒐集したもの。財界の重鎮として活躍した原氏が、実は浮世絵蒐集家でもあったことは、あまり知られていませんでした。数セットしか現存しない〈名所江戸百景〉〈六十余州名所図会〉初摺揃い物の中でも、見事な保存状態を誇る原安三郎コレクションのセットが全点公開されるのは、今回が初めてです。

葛飾北斎の〈富嶽三十六景〉〈諸国名橋奇覧〉など名品22点も出品されます。北斎が日本各地の水辺を描いた連作〈千絵の海〉全10点が揃うのは、またとない機会です。歌川国芳が西洋絵画から影響を受けたユニークな名所絵などもあわせ、総計230点を、前・後期総入れ替で展示します。本当の「江戸の色」を、ぜひお楽しみください。

関連イベント

- ・講演会「旅する広重〈六十余州名所図会〉」
日時：4月16日〔日〕14時～（約90分）
会場：当館講堂（開場13時30分）
講師：小池 満紀子
（中外産業株式会社 美術担当、国際浮世絵学会 理事）
聴講無料・定員100名（事前申込不要・先着順）
- ・美術講座「北斎と広重 名所絵の黄金時代」
日時：3月18日〔土〕14時～（約90分）
会場：当館講堂（開場13時30分）
講師：松沢 寿重（新潟市美術館 学芸員）
聴講無料・定員100名（事前申込不要・先着順）
- ・みどころ解説（当館学芸員のショートレクチャー）
日時：3月26日〔日〕、4月8日〔土〕、22日〔土〕、5月13日〔土〕 各日14時～（約30分）
会場：当館講堂（開場13時30分）
聴講無料・定員100名（事前申込不要・先着順）

同時開催

新潟市美術館コレクション展Ⅲ 光を想う
2017年1月2日〔月〕～4月2日〔日〕

新潟市新津美術館の展覧会 tel: 0250-25-1300

新潟の院展作家たち
2017年2月4日〔土〕～3月20日〔月・祝〕

NIIGATA アートリンク 2016・2017
スタンプラリー対象展です

2度目はオトク！リピーター割引

本展半券のご提示により、
2回目のご来場時は団体料金でご覧いただけます



新潟市美術館
Niigata City Art Museum

〒951-8556 新潟市中央区西大畑町 5191-9
tel: 025-223-1622 fax: 025-228-3051
www.ncam.jp

f www.facebook.com/ncam.tsunagaru/

交通のご案内

○バスで（新潟駅万代口バスターミナルから）
[B1 萬代橋ライン（BRT）] など乗車約10分
→バス停「古町」下車→徒歩約12分（約860m）
※「古町」でとまるバスは、もっとも便数が多いです。

○タクシーで
新潟駅万代口から約10分

○駐車場の混雑が予想されます。なるべく公共交通機関をご利用ください。

○お車でお越しの場合、「新潟市西堀地下駐車場」をご利用の方には、60分無料券をお渡ししています。

